



令和7年度1回目の村有図書を 64冊購入しました！

今年度1回目となる「村有図書」に購入を行い、役場玄関横の「図書コーナー」の新着図書コーナーに配架しました。第172回芥川賞・直木賞受賞作や2025本屋大賞ノミネート作品など、話題作が揃っています。どうぞ、役場の図書コーナーにお越しください。

(赤井川村教育委員会)

<北海道の本> 『北海道でいちばん大切にしたい会社』 北海道新聞社編

<小説> 『それは令和のことでした』 歌野晶午 哀しみと可笑しみの令和ミステリー
 『まず良識をみじん切りにします』 朝倉秋成 価値観の衝突から生じる歪な心理を描く
 『恋とか愛とかやさしさなら』 一穂ミチ 『冬の瓦礫』 砂原浩太郎
 『D'TOPIA デートピア』 安堂ホセ 第172回芥川賞 『ひまわり』 新川帆立
 『ゲートはすべてを言った』 安堂ホセ 第172回芥川賞
 『藍を継ぐ海』 伊予原新 第172回直木賞 『PRIZE—プライズ』 村山由佳
 『直木賞を取らなかった男』 新堂冬樹 人気作家と編集者の軌跡を描く
 『逃亡者は北へ向かう』 柚月裕子 『鬼哭 帝銀事件異説』 鳴海章
 『高宮麻綾の引継書』 城戸川りょう 『ヒポクラテスの困惑』 中山七里
 『カフネ』 阿部暁子 2025本屋大賞1位 『みしらぬ国戦争』 三崎亜記
 『小説』 野崎まど 2025本屋大賞3位 『人魚が逃げた』 青山美智子 2025本屋大賞5位
 『死んだ山田と教室』 金子玲介 2025本屋大賞9位 『嗤う被告人』 前川裕
 『生殖記』 朝井リョウ 2025本屋大賞8位 『人生劇場』 桜木紫乃
 『クライミング・マインド』 ロバート・マクファーレン

<自己啓発> 『考え方ひとつで明日はもっとうまくいく』 内藤誼人
 『あっという間に人は死ぬから』 佐藤舞 今この瞬間をどう生きるか
 『わたしはわたし。あなたじゃない。10代の心を守る境界線「バウンダリー」の引き方』 鴻巣麻里香

<料理> 『体にいいおやつ』 ねぎちゃん 第11回料理レシピ本大賞【お菓子部門】準大賞

<歴史・歴史小説> 『江戸の犯罪録 長崎奉行「犯科帳」を読む』 松尾晋一
 『梅の実るまで』 高瀬乃一 『対馬の海に沈む』 窪田新之助
 『椋鳩十と戦争 ～生命の尊さを動物の物語に～』 多湖吉郎
 『日本ファッションの150年 明治から現代まで』 平芳裕子
 『雪夢往来』 木内昇



< **農業・環境** > 『フリーランス農家という生き方』 小葉松真里

< **その他** > 『日常は数学に満ちている』 三谷純

『ルポ 秀和幡ヶ谷レジデンス』 栗田シメイ マンション管理組合と繰り広げる攻防の行方は…

< **新書** > 『ネットでいじめられたら、どうすればいいの?』 春名風花

『人生の壁』 養老孟司 『デジタル脳クライシス』 酒井邦嘉

『スターの臨終』 小泉信一 『飛脚は何を運んだのか』 巻島隆

『東大生に教える日本史』 本郷和人 『大学でどう学ぶか』 濱中淳子

『わかったつもり 読解力がつかない本当の原因』 西林克彦

< **エッセイ・芸能** > 『死後生を生きる 人生は死では終わらない』 柳田邦男

『うちは「問題」のある家族でした』 菊池真理子

『やなせたかしの素顔 のぶと歩んだ人生』 伊多波蒼

< **健康** > 『あなたを疲れから救う休養学』 片野秀樹 医学博士の筆者が提唱する休養学

『今さら聞けない睡眠の超基本』 柳沢正史

< **文庫・歴史文庫** > 『死の貝 日本住血吸虫症との闘い』 小林照幸

『黒雪姫と七人の怪物』 太田紫織 『その復讐、お預かりします』 原田ひ香

『榎本武揚（改訂）』 阿部公房 『偽医者がある村』 藤ノ木優

『恐怖への招待』 榎岡かずお 『トリカゴ』 辻堂ゆめ

< **子ども向け図書** > (健康支援センターにあります)

『鳥がおしえてくれること』 鈴木まもる

『ぼくのじゃがいも』 ジョシュ・レイシー／モモコ・アベ

『ノラネコぐんだん おすしやさん』 工藤ノリコ

『ノラネコぐんだん アイスのくに』 工藤ノリコ

『パインさんのごちゃまぜかんぱん』 レオナード・ケスラー／小宮由

『世界への DOOR』 帝国書院編集部

『大ピンチずかん』 鈴木のりたけ



◎希望書籍は「村有図書貸出簿」の最後にある『購入希望欄』に書いてください。購入する際の参考にいたします。

◎「村有図書の蔵書一覧」「村有図書新刊の一覧」は赤井川村ホームページに pdf データで掲載しております。